

令和5年第12回東海市教育委員会定例会議事録

1 開催日時 令和5年12月15日(金)  
開会 午後2時  
閉会 午後2時29分

2 開催場所 603会議室

3 出席者  
教育長 加藤千博  
委員 木村敏幸  
委員 久野友士  
委員 石川真理子  
委員 村上直人  
委員 堀ノ口香織

4 欠席委員 なし

5 委員以外の出席者 なし

6 説明のため出席した者  
教育部長 小島久和  
教育委員会次長兼スポーツ課長 鈴木俊毅  
芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也  
学校教育課長 桜井正志  
学校教育課統括主幹 加古尚毅  
学校教育課主任指導主事 明壁啓純  
学校教育課指導主事 大石慎也  
学校教育課指導主事 佐々木淳志  
教員研修センター指導主事 和田英也  
給食センター所長 牧野達弘  
社会教育課長 永井伸明  
社会教育課統括主幹 正城彰一  
新創造交流施設建設室長 栗原知里  
中央図書館長 内山香織  
芸術劇場管理課長 中島達也  
文化芸術課長 阿部吉晋

7 会議書記  
学校教育課主任 岡田直美

8 議事日程 別紙日程のとおり

9 傍聴人 なし

## 10 協議概要

教育長（加藤 千博）

ただいまから、令和5年第12回東海市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事日程については、あらかじめ配付いたしました日程表のとおり進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これより会議に入ります。

---

教育長（加藤 千博）

日程第1、「前回議事録の承認」を議題といたします。

令和5年第11回定例会の議事録についてお諮りいたします。

本案については、承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声）

教育長（加藤 千博）

御異議なしと認めます。よって、「前回議事録の承認」については、承認されました。

---

教育長（加藤 千博）

日程第2、「報告」を議題といたします。

教育長（加藤 千博）

令和5年第3回市議会定例会について報告させていただきます。

一般質問の答弁要旨は、教育委員あてに、先に送付させていただきましたとおりでございます。9月14日、27日に文教厚生委員会が行なわれました。それぞれの主な質疑応答を御報告します。

9月14日につきましては、始めに「請願第1号 東海市立歴史民俗資料館の建設を求める請願書」が審査され、審査にあたっての確認として、平洲記念館・郷土資料館を始め芸術劇場嚶鳴広場等、市内各所で資料の展示がされているが、資料館のあり方をどのように考えているか、との確認があり、現在は、平洲記念館・郷土資料館を中心的な施設として位置付けているものである。再整備基本計画でも触れているが、平洲記念館・郷土資料館については立地の問題で駅から遠いため、駅に近い嚶鳴広場や創造の杜交流館に特徴的な資料を展示し、より深く学びたいと考える方には、平洲記念館・郷土資料館にお越しいただきたいと考えている。また、再整備基本計画では平洲記念館・郷土資料館の展示スペースが狭いことも課題として挙げており、将来的には収蔵庫と郷土資料館等の機能を併せ持った施設を平洲記念館・郷土資料館周辺に建設できればと考えている、と発言しました。

請願につきましては、賛成少数で不採択と決定されました。

また、「議案第45号 東海市営温水プールの設置及び管理に関する条例の廃止について」では、50メートルのプールは名古屋市を除き、愛知県内に4か所あるが、どのように考えているか。また、愛知県は廃止に対してどのように言っているのか、との質問があり、名古屋市内に2か所、春日井市や豊橋市、日進市等にあることを認識している。市営温水プールは、県との関係がないため、特段、コメント等は出ていない、と答弁しました。

続きまして、9月27日につきましては、「認定第1号 令和4年度東海市一般会計歳入歳出決算認定について」では、学校の居場所づくり事業について、現在、保健室に養護教諭と心の相談員を配置して対応しているが、それぞれの学校で対応した児童生徒数はどのようなか、との質問があり、心の相談員は養護教諭と共に生徒の相談に乗っているため、合わせた数になるが、令和4年度は、874人の児童生徒から3,020件の相談を受けたものである、と答弁しました。

次に、文化協会活動補助事業について、文化センターの閉館に伴う各団体の活動状況はどのようなか、という質問があり、これまで文化センターを中心に活動していた団体のうち24団体と8部会については、新しい減免対象施設が設置されており、昨年度から、登録団体であった2つの団体が減少しているものの、閉館が、直接的な原因ではないと伺っている。また、大会等が芸術劇場で行われることに伴い、新たに合同発表会が開催される等、文化センターの閉館を機に発展的に取り組もうとする姿勢を感じている、と答弁しました。

議案につきましては、教育委員会関係のものはすべて原案どおり可決及び認定されました。以上、報告いたします。

教育長（加藤 千博）

ほかに報告のある委員はいらっしゃいますか。

教育長（加藤 千博）

これより、報告に対する質疑に入ります。質疑の発言を許します。

教育長（加藤 千博）

ないようですから、これをもって「報告」を終わります。

---

教育長（加藤 千博）

日程第3、「その他の報告事項」を議題とします。

(1)から(5)について、担当課長等から順に報告を求めます。

社会教育課長、教育委員会次長兼スポーツ課長

（資料に基づき説明した）

教育長（加藤 千博）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

2番委員（久野 友士）

愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について、津島市で箱根駅伝競走に出場し

た経験がある神野選手が監督に就任されチームを率いたそうですが、東海市では合同練習会等を行う機会はあったのか。

教育委員会次長兼スポーツ課長（鈴木 俊毅）

5月からの選考会で選ばれた選手は、長野県の菅平で夏合宿を行うなど、選手の強化、小中学生の発掘及び育成を行っており、今後も良い成績が残せるよう期待しております。

1 番委員（木村 敏幸）

わが町探検隊の聚楽園大仏めぐりの結果について、大仏周りは階段も多く配慮が必要とのことだが、その他に配慮が必要なことはなかったか。

社会教育課長（永井 伸明）

公園内は階段等が多いため、迂回し、階段を使用しなくてもよいコースの配慮が必要と考えております。ただ、迂回コースがない箇所もあるため、階段や起伏が激しい箇所があることを募集の段階で周知が必要と考えております。

3 番委員（石川 真理子）

高ノ御前遺跡現地説明会について、参加させていただきましたが、さまざまな世代の参加があり、多くの市民が関心を持っていることがわかりました。また、このような機会をぜひ作って欲しい。

5 番委員（堀ノ口 香織）

東海ハーフマラソン2023の結果について、非常に感動しました。5,000人を超える参加者に東海市の良いところを知ってもらえたのではないかと実感しています。来年は今年を超える人数の募集をするのか。

教育委員会次長兼スポーツ課長（鈴木 俊毅）

定員については、現在はハーフマラソンの部が3,000人、10kmの部が1,000人、2kmの部が1,000人ですが、終了後に実行委員から定員を少しでも増やすことはできないかという話もいただいております。定員の拡大につきましては、スタート位置、更衣室、手荷物預かり等のキャパシティや駐車場等のアクセス関係がスムーズにクリアできるかを検討しながら進めていきたいと考えております。

4 番委員（村上 直人）

東海ハーフマラソン2023の結果について、周辺地域の交通状況については例年と比較してどのようか。

教育委員会次長兼スポーツ課長（鈴木 俊毅）

第1回につきましては、交通規制により大田町の住民が外に出られないことがありました。第2回は、前回の反省を活かし、南には抜けれるように改善しましたが、一度交通規制区域の中に入ってしまうとなかなか抜けれず渋滞を招いてしまったため、第3回の今年度は、交通規制区域の手前から案内をする等の対策をし、大きな

トラブルもなく概ね開催できたと思います。

教育長（加藤 千博）

他にないようですから、これをもって質疑を終わります。

---

教育長（加藤 千博）

続いて、(6)から(10)について、担当課長等から順に報告を求めます。

中央図書館長、文化芸術課長、学校教育課指導主事、教育委員会次長兼スポーツ課長  
(資料に基づき説明した)

教育長（加藤 千博）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

教育長（加藤 千博）

ないようですから、これをもって質疑を終わります。

---

教育長（加藤 千博）

(11)のその他について、何かありますか。

教育長（加藤 千博）

ないようですから、これをもって終わります。

以上で「報告事項」を終わります。

---

教育長（加藤 千博）

以上をもって、今回定例会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって、令和5年第12回東海市教育委員会定例会を閉会いたします。